海怪ウォッチ班　議事録

コメントのところにも書いてあるので見てください～

宿題もコメント欄に書いてあります～ウィースッ！

2014/11/28

文責：山見

PP

(1)教員が多忙（→「教えること」に集中できない）

　　↓

　教員が多忙なのは

　・国が教員に求めていることが多すぎて、“teach＋α”の教師観があるから

　・社会全体で子どもを育てる意識が他国に比べて低く、

　・（教職の定義が曖昧で）

　・子どもの教育が教師に任されすぎている

(2)自己効力感が低い

　　↓

　教員の自己評価が低いのは、国が多くのことを教員に期待しているのにも関わらず、

　適切な研修やサポートが行われていないから。

　☞日本の答申

　　教員に多くのことを期待している

　　⇒教員養成制度・研修制度が、国の期待していることに対応していない

　　海外（ex.ノルウェー）

　　教員に期待していることがきちんと養成制度で対応できている（自己効力感が高い）

(3)労働環境が悪い（→やりがいを感じていない、将来の教員不安）

　　↓

仮説

歴史的に、教育問題が増えたときに、~~教師の役割が明確化されなかったため。~~すべて教員の職務とされてしまったため。

　☞１答申で教員の職務の捉え方をみる。（その時代の教育問題）

　海外では教育問題が増えてきた時にどのように対応してきたか

【メモ】

昔：先生の権威　高

　　→教育は先生に任せよう

　　　↓

　　家庭や地域で教育する意識なし

　　　↓

今：先生の多忙化

労働環境よくないものとして考えられるもの

仕事多い（多岐にわたる）

労働時間多い

休職・離職率高い

賃金安い（時間あたり）

自己効力感低い

|  |
| --- |
| まとめ直し！労働環境よくない（要検討）仮説歴史的に教育問題が増えたときに、すべて教員の職務と捉えられてしまったが、それに対応する養成制度が整備されていなかったため。①**答申で**時代ごとの・教員のあるべき姿・教員の職務の範囲　を見て　その時代の教育問題と対応させてみる。②養成制度・研修が①に見合ったものになっているかを見る |